

学校長通信 No.21

関西医療大学を見学しました

毎年秋になりますと、PTA 企画といたしまして「社会見学」を行います。ただ、今年は7月24日に実施いたしましたので、例年に比べますと3か月ほど早い時期に行ったこととなります。そのいきさつについてお話しあげますと、実は昨年からののですが、企画全般について協議するPTA 役員会におきまして「社会見学の目的と狙いを再確認してみよう。」という提案がなされ、いろいろな意見交換を行いました。その中で田中 PTA 会長の「生徒達が体験し、また悩むことになる進路問題について、PTA として思いや体験を共有できないだろうか。」というご意見があり、ならば、実際、子ども達と同じように大学や短大見学をメインにした社会見学を組むのが良いだろうということになりました。当然、時期としては受験活動開始前が良かったらということ、秋ではなく夏休みが始まったばかりの7月下旬という案が浮上していったという経緯でございます。

次に具体的な見学校の検討に入ったわけですが、昨年は近年最も人気のある大学のひとつである近畿大学を選びました。それに対し今年地元・熊取の関西医療大学を訪問いたしました。これは、日根野高校が大きな特色といたします看護メディカル専門コースへの取組みとリンクさせた動きで、年々、興味を持つ生徒が拡大してきている現実に鑑み選定いたしました。他にも、看護医療系学科を持つ国公立大学にも数校打診をいたしたのですが、先方のご方針やご事情もあり、なかなか話が具体化するところまでいかず、生徒達が自由に飛び回るオープンキャンパスとは少し違ってもどかしさを感じた次第でございます。

医療大学見学を終えての感想といたしましては、総合大学とは違う単科大学独特の強い専門性と実学に向かう現場感を味わうことができました。病院と診療所と学校との境目のない産学一体感、学ぶものを常に現実に向き合わせ、使命感を高めていくように感じましたし、このような中で日々を過ごす学生たちはきっと医療看護にたずさわるプロとしての気概を自然と身につけていくのだろうな、頼もしいな、というのが率直な感想です。その後、日航ホテル関西空港に移動してランチ（参加者の実費負担になります）を楽しみつつ盛況の内に社会見学会が散会いたしましたことをご報告申し上げます。来年も楽しい企画を考えますので、より多くの皆さまのご参加をお待ちしたいと考えます。